◎ **お寺カフェ（浄土真宗基礎講座）：１４時～１５時**

毎月原則２８日（親鸞聖人の御命日）に開催しています。

２８日が土日に当たる場合は直前の金曜日にします。

今後の開催日⇒ **4/27（金）、5/28（月）、6/28（木）、**

3月は春彼岸後なので休会します。

毎回「テーマ」を設けて、皆さんで座談する形式で開催しています。

４月 「インチキな宗教とほんとうの宗教」

５月 「"後生の一大事"とは死後の救いを願うことなのですか？」

◎ **死別の分かちあいの集い**(予約・参加費不要)**：１３時～１５時**

・伴侶：毎月第１土曜日（*4/7、5/5、6/2、7/7、8/4*）

・自死：毎月最終土曜日（*3/31、4/28、5/26、6/30、7/28*）

当事者の方々と僧侶（超覚寺住職）との分かちあいの集いです。

◎ **対話カフェ　：3/10・11(日・月)・13(火)　１３時～１７時**

◎ **ほっ！と相談：毎月第２火曜日　　１３時～１６時**

精神対話士（メンタルケアの専門家）との１対１の面談形式です。

日頃心の中に溜め込んでいるモヤモヤした気持ちを吐き出して、ほっ！

とする時間を持ちませんか？

◇ **報告・連絡・"僧"談**

毎月28日に開催している勉強会は、「浄土真宗基礎講座」や「超覚寺女子会定例会」というように命名していましたが、皆さんがより気軽に集えるように、**「お寺カフェ」**に改名します。「読経＋法話＋座談」という形式は変えませんが、季節のお菓子を召し上がっていただきながら、「テーマ」を語り合う茶話会にしたいと思います。講義でなく座談という形式なので、雑談が自然と増えて堅苦しさが無くなり、これまでの会も和やかな雰囲気でした。普段は話さないような硬いテーマですが、皆さん時間をオーバーしてまで話してしまい、予想を超えて楽しい会になっています。

発行人：超覚寺住職　釈隆恩(和田隆彦)　(*￣-￣)人 i～ 合掌

2018年3月春 超覚寺報 第31号

【八丁堀だより】



真宗大谷派（東本願寺）

林鴬山 憶西院 超覚寺

RIN-OH-ZAN OKU-ZEI-IN CHOH-KAKU-JI

〔since 仏暦2002，西暦1619，元和5〕

〒730-0013　広島県広島市中区八丁堀 5-2

Tel　：082-221-1234；090-9999-3113

Mail　：wada@namuamidabutsu.com

HP　：http://www.namuamidabutsu.com

超覚寺 春の法要 のお知らせ

慈光のもと、平素は様々にお世話になっておりますこと、ありがたく存じます。

さて、下記の通り法要・法座を勤修いたしますので、ご参詣くださいますよう、ご案内申し上げます。 <(_ _)>

◎ ２０１８年 春季彼岸会法要

３月２１日（水・祝）１３時～ 勤行・法話：住職

１４時～１５時３０分(もぐもぐタイム有)

高座(節談)説教：祖父江佳乃師

例年通り、人気布教使の祖父江佳乃師(愛知県名古屋市有隣寺住職)に御出講いただきます。私は節談説教を学び始めて４年ですが、祖父江先生から色々なことを教えていただき、良き師匠に出遇えた慶びをしみじみ感じております。

◎ 真宗大谷派広島別院明信院（東別院）法話会

住所はフジグラン広島からすぐの「広島市中区宝町4-16」です。

・定例法話：毎月５日の１４時～１５時

真宗大谷派僧侶の法話があります。

・春彼岸会

３月２２日(木)１４時～１６時

今回は、私が法話を担当します。超覚寺の春季彼岸会で話した内容の拡大版をお話します。ご都合のよろしい方は是非お越しください。



◇ ２０１７(平成２９)年の御法事をご確認ください。

・2017(平成29)年： 1周忌　・2016(平成28)年： 3回忌
・2012(平成24)年： 7回忌　・2006(平成18)年：13回忌
・2002(平成14)年：17回忌　・1994(平成6)年 ：25回忌
・1986(昭和61)年：33回忌　・1969(昭和44)年：50回忌

お勤めは御自宅でもお寺でも大丈夫です。御命日が近づいても連絡の無い場合には、ハガキや寺報にて御案内いたします。念のため、境内通路脇の案内板に該当者名を掲示してありますので、墓参の際に御確認ください。

法事に掛かる時間は、読経から法話まで約30分です。複数の法事を続けてお勤めする場合は約15分ずつ時間が延びます。**小さいお子さまにとっても大切な御法縁**になりますから、ぜひ同席くださいますようお願いいたします。

年回法事が無い方も、**月命日・祥月命日・お彼岸・お盆**には、お仏壇やお寺の阿弥陀様にお参りしましょう。階段が辛く２階本堂まで行き難い方は、１階の仏間でも法事ができます。境内駐車場も５台までは大丈夫です。

お寺での法事は、ゆっくりお参りただけるよう間隔に余裕を持たせて、開式時刻は**10時・11時半・13時・14時半**にしております。予約状況によっては時刻の変更希望も可能です。その他ご不明の点はどうぞ何なりとお問い合わせください。

◎ 坊主BAR inハチドリ舎 ：１９時～２２時

中国新聞社近所のカフェ「ハチドリ舎」(広島市中区土橋町2-43一201、☎082-576-4368)にて毎月開催しています。今後は、**３/２９(木)**、**４/１９(木)**の日程が決まっています。

◇ 寺院護持費（墓地管理費）について

遠方の方々は、どうぞ下記口座をご利用ください。

【ゆうちょ銀行　１５１９０－５５７７０６０１】

他金融機関からゆうちょ銀行へ振り込まれる際は、次の内容をご指定ください。

【店名】五一八（読み ゴイチハチ）

【店番】５１８（普通預金）５５７７０６０

◇ 寺業報告



・２０１８/１/１【修正会】

一年最初の法要。のべ２２名がお参りくださいました。法要の時間以外でも本堂を解放していたので、多くの方々がお参りくださいました。

お陰さまで住職坊守も大病無く、子どもたち６人もケンカしつつも健やかに育っております。

今年もよろしくお願いいたします。



・１/１４中国放送「元就。」ＭＣのアンガールズ田中さんと御縁がありました。

こういう番組は事前に打ち合わせがあるもんだと思っていましたが、私には「12/8の午後って空いてますか？　インタビューよろしいですか？」程度の電話があっただけでした。あのアンガールズ田中さんが来るなら、色紙を用意していたのに…。一緒にジャンガジャンガする余裕も持ててただろうに…。坊守には「内緒にしてたんでしょ！」と有らぬ疑いを掛けられましたが、放送中に「アポ無しで訪問」のコメントがあったので、嫌疑は無事晴れました。

・１/１６「上田宗箇流」の初釜。超覚寺開基住職と上田家初代は、浅野家の広島藩入りに共に同行した仲だったので、その御縁で毎年初釜に招いてくださいます。



◎ 第４回法灯リレー法座 【 帰ろう･･･人のいのちへ 】

講師：高橋法信師（大阪市生野区　光徳寺住職）

今年も大谷派寺院５カ寺合同の法座を開催いたします。どなた様もどのお寺へご自由に参詣できますので、ご都合の良い日時・お寺へ是非お参りください。もちろん複数回お参りくださっても大丈夫です。

４月１２日(木)　１３時３０分～１５時３０分
円光寺（広島市中区白島町16-8）

１３日(金)　１０時～１２時
超覚寺（広島市中区八丁堀5-2）

１３時３０分～
極楽寺（広島市東区尾長西2-10-7）

１４日(土)　１４時～１６時
光円寺（福山市大門町津之下792）

１５日(日)　９時～、１３時～
善福寺（大竹市木野2-1-5）

◇ 第３回マツダスタジアム団体観戦

今年も**広島カープ戦（マツダスタジアム）**の団体観戦を企画しました。

４/７(土)１４時～　内野指定１塁側３０席：1枚 3,600円
４/８(日)１３時半～内野指定１塁側３０席：1枚 3,600円
７/２７(金)１８時～エバラBBQテラス４０席：1枚 5,000円

今年のライバルはここだと思うので、全て**ＤｅＮＡ戦**にしました。2連覇の影響でチケットの入手も困難極まりない状況で、例年通りに100席確保できたのは幸運でした。9月の対戦カードがハズレたのは残念でしたが･･･。今回は念願のBBQ席が当たったので、御門徒同士の交流が盛り上がりそうです。

観戦希望の方は、お寺までお電話ください。追加のチケットが決まれば、フェイスブックで速報しますので、超覚寺宛にどうぞ友達申請ください。

☆ 『お葬式』考２０１８年版

○「終活」や「家族葬」という言葉が市民権を得て、次の新しい言葉が生まれています。「一日葬(お通夜をせずに葬儀告別式のみ)」、「火葬式 (お葬式をせずに火葬前に読経するだけ、直葬)」、「お寺葬(お寺の本堂でするお葬式)」・・・。このように言葉化しマスコミで使われると、社会で認知されたことになって、お葬式が多様化していきます。でも悪貨が良貨を駆逐するように、儀式の多様化は簡略化の一方向に進んでしまいます。儀式本来の意義を無視してシンプルになるだけなら、副作用は小さくありません。冠婚葬祭の儀式は、当人の自覚や無意識に大きく作用し、安穏が得られるなど精神面に多大な影響を与えます。こういう儀式を省くと、生きる意欲が盛り上がらなかったり、精神的なダメージを癒せないままだったりします。そして、生まれた意義や生きる喜びが見つからないまま、後生を生きることになりかねません。

○子どもや周りに迷惑をかけないよう、家族葬や火葬式を希望する方が増えています。お金や手間を掛けさせたくないというお気持ちは分かりますが、実は逆に面倒な結果になってしまうことが多いのです。普通のお葬式より家族葬の費用の方が割安か言うとそういうことはなく、お葬式の後も自宅に連日弔問客が訪れて大変だったとかも耳にします。故人の交遊関係は、家族が全て把握できませんし、故人と最後のお別れをしたい気持ちを無下にすることも誰にもできません。でしたら親族知友みな一緒にお葬式に参列した方が、しっかりお見送りできるのではないでしょうか。

○数年前から葬儀場でパンフレットを配っていますが、この度、それを一新し小冊子化しました。寺報と共に同封しましたので是非ご一読ください。

○ペット用のお墓のことは前々から話していますが、超覚寺開基400周年記念寺業として建立することを計画しています。これまでも、境内の菩提樹の根本に御骨や遺体を埋めて供養してきましたが、拝む対象としての石碑がないと、やはり手を合わせ難いものです。実は**そのお墓を何と呼ぶか**で悩んでいます。単に「ペットのお墓」で構わないのか？　「ペット」と呼んでしまって構わないのか？　何か良い案があれば、お教えください。

○「墓じまい」も一般化し、御骨を引き受ける合同墓も様々な形のものが増えました。従来の海洋散骨やロッカー型の納骨堂に加え、自動運搬機械式・樹木葬・宇宙葬・・・。価値観や希望は十人十色ですから、選択肢が増えるのは喜ばしいですが、注意点が一つだけあります。それは納骨期間に期限があること。一定期間までは個別納骨ですが、7回忌や33回忌を過ぎたら、別の場所に移して散骨合祀するところが多いので、永遠に桜の木の下だと思っていたら実は違っていた！になりかねません。超覚寺合同墓は、最初から散骨合祀形式なので、永遠にあのお墓で永代供養いたします。

○下記の写真は、超覚寺本堂でのお葬式の様子です。昔ながらのお葬式は、ご自宅の仏間でするものでしたが、現代の住宅事情では中々難しいものです。お寺でのお葬式は、ご自宅でするより気を使わず、葬儀会館でするより余計にお金も掛からず、何よりお寺でのお葬式は、雰囲気が格別です。また超覚寺の御門徒は会場費も不要です。親族に余計な心配を掛けることもなく、今の時代に相応しいお葬式になると思います。

